

2019 横浜シーサイドトライアスロン大会

オペレーションマニュアル【トランジション】

【TO用】

final 版

作成者	山口 直子
作成日	2019年8月29日
更新日	2019年9月10日
更新日	2019年9月13日
更新日	2019年9月24日
更新日	2019年9月25日

目次

2019 横浜シーサイドトライアスロン大会	1
目次	2
体制	3
1. 審判員 (TO)、ボランティア (VO)、備品一覧、表示看板 (サイネージ) 一覧	3
会場・コース	6
1. スタッフ配置図	6
業務詳細・留意事項	7
1. 共通事項	7
2. 業務別詳細および留意点	8

■ 略語一覧

TD	テクニカル・デリゲイト (技術代表)
HR	ヘッド・レフリー (審判長)
TO	テクニカル・オフィシャル (審判員)
CTO	チーフ・テクニカル・オフィシャル (部門のチーフ審判員)
SCTO	サブチーフ・テクニカル・オフィシャル (部門のサブチーフ審判員)
VO	ボランティア
G	ガードマン
S	交通整理員
MD	メディカル、医療チーム
KnTU	神奈川県トライアスロン連合

体制

1. 審判員（TO）、ボランティア（VO）、備品一覧、表示看板（サイネージ）一覧

CTO/SCTO/TO 無線保有 一覧

名前	役割	具体的な業務役割等	無線
山口 直子	チーフ (CTO)	全体統括、全体対応、トランジションエリア内全体監視、マウントライン・ディスマウントライン・ボランティア対応	○
押木 雅朋	サブチーフ (SCTO)	統括補佐、トランジションエリア内全体監視、スイムアップ～スイム入口対応、各出入口対応	○
登坂 高志	TO 1	マウントライン・横断路制御・誘導、選手誘導・声かけ	
金子 英一	TO 2	ディスマウントライン・横断路制御・誘導、選手誘導・声かけ	
海野 浩	TO 3	マウントライン・ディスマウントライン・横断路制御・誘導、選手誘導・声かけ	
大根田 崇	TO 4	スイム入口付近 トランジションエリア内全体監視、選手誘導・声かけ	
小島 康義	TO 5	ラン出口・リレーゾーン付近 トランジションエリア内全体監視、選手誘導・声かけ	
佐々木 秀一	TO 6	バイク入口付近 トランジションエリア内全体監視、選手誘導・声かけ	
田前 正博	TO 7	バイク出口付近 トランジションエリア内全体監視、選手誘導・声かけ	
清水 英一	TO 8	スイムアップ～スイム入口まで付近、横断路誘導・救急車通過誘導、トランジションエリア内全体監視、選手誘導・声かけ	
石野 恵子	TO 9	トランジションエリア内全体監視、選手誘導・声かけ	
山村 良一	TO10	トランジションエリア内全体監視、選手誘導・声かけ	

※ 2019年9月29日(日)朝TO全体集合直後にパート毎ミーティングを行います。

集合場所：トランジション付近 ※スタッフ配置図参照

※ TO役割と配置についてはあくまで原則であり、当日の状況に応じて別の役割の支援に入る場合がありますので、本OM熟読と臨機応変なご対応をお願いします。

VO（ボランティア）一覧および担当エリア

ポイント名	人数(人)	担当・役割	指揮担当TO
マウントライン付近～トランジションまで	2 ※2	選手誘導、観客誘導、声かけ	CTO
ディスマウントライン付近～トランジションまで	2 ※2	選手誘導、観客誘導、声かけ	CTO
横断路(2人×3箇所)	6 ※2	選手誘導、観客横断路誘導、声かけ	CTO
合計	10	—	—

※2 配置するボランティアの人数は、横浜市各区の担当配置により適宜調整。

備品一覧

備品名	数(予定)	特記事項	備考
カラーコーン・バー	コーン 約100個 バー 約50本 ※警備計画による	現場確認。 トランジションエリアからスイムアップ入口、出口マウントライン、入口ディスマウントライン、横断路の観客誘導のため、各コースやエリア形成をカラーコーン・バーで設定する。床にガムテープで左側通行の矢印表示をする。	TO設置
マウントライン(緑)ディスマウントライン(赤)用の敷きマット	赤・緑 各約1枚	現場確認。 運営者が準備したものを運び、マウントライン、ディスマウントラインで使用する。 雨天時は滑り防止に配慮する。	TO設置
椅子	椅子4	パトトライアスロン用に椅子を用意し、必要に応じて設置する。	TO設置
トランジション用サイネージ	各1帯 ラミネート製 上・下四隅 2箇所穴あけ	運営者に「ランスタート」「バイクスタート」の横断幕の有無またはサイネージを確認し、トランジションエリアに運び、見やすい位置に設置する。	TO設置
トランジション用表示看板(サイネージ)	約6箇所	運営者にあらかじめラミネート加工依頼したサイネージを確認し、不足があれば調達する。トランジションエリア周囲へ掲示する。	TO設置
紐・白ガムテープ	各1巻	サイネージ取付用、案内不足箇所に文字表現他	TO設置
竹ぼうき ゴミ袋	2本 2袋	トランジションエリアの清掃、落ち葉、小石、砂の除去等を適宜実施する。	TO実施
冷却水、氷等	—	体調不良などの選手向け。フィニッシュメディカル救護所の位置を確認し、医師・看護師と適宜連携する。	TO確認

表示看板（サイネージ）一覧

ガムテープで該当箇所に取り付けするかまたは、上・下の四隅に2箇所穴があいているので、紐を通して、地上1.2m程度の高さの位置に取り付けてください。

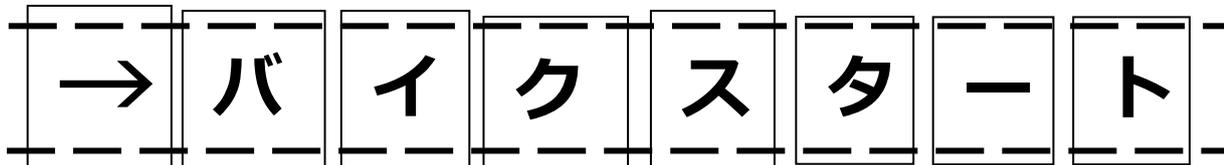
何もない場合は、コーンに取り付けてください。

取り付け対象：木、プラ柵、ベンチやテントなど、対象を痛めないように配慮してください。

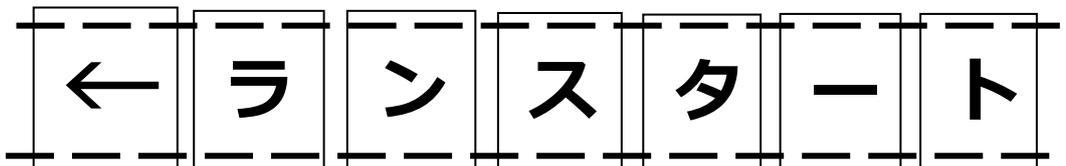
- ・ トランジションエリア
- ・ バイクスタート :ラミネート製 A3—1文字 紐つなぎ状 運営者準備
- ・ ランスタート :ラミネート製 A3—1文字 紐つなぎ状 運営者準備

- ・ 男子更衣室、女子更衣室:ラミネート製

- ・ マウントライン付近 :ラミネート製
- ・ ディスマウントライン付近:ラミネート製



各1帯



2枚



2枚



2枚



2枚

会場・コース

1. スタッフ配置図

●:TO
 ☺:VO
 ⊘:G, S
 ☀:サイネージ

● バイク・ランとの業務範囲ライン

あくまで原則的なラインであり、不測の事態に応じて、トランジション TO がバイクやランのサポート等に入ることがあります。
 バイク・ラン TO と連携し、臨機応変なご対応をお願いします。

● 観客横断路

ピーク時は観客で混雑します。
 ディスマウントラインで選手が降車後、ふらつくことがありますので、観客との接触に気を付けて、適切な誘導運営をお願いします。



9/29 朝 7:10 ごろ～パート毎
ミーティング集合場所

※ トランジションオープン 7:20

業務詳細・留意事項

1. 共通事項

「Safety and Fairness」「Spectator and Media Friendly」

TOは、周りから目立ち、多くの人に観られています。業務に就いている間は、身だしなみと立ち振る舞いに自覚を持ち、丁寧な対応をしていただくようお願いいたします。

(1) 情報連絡ルートおよび事故発生時対応

- ・ 事故、障害、トラブル等が発生した場合は、TOは、**まわりの選手の安全を第一に、競技が大きな支障なく続行できることを優先して緊急対応**してください。
- ・ 緊急対応後速やかに、「**発生場所・時間**」、「**けが人の状態**」、「**レースナンバー**」、「**人数**」、「**対処内容**」等を簡潔に、無線保有のTOもしくはCTOに報告してください。
- ・ CTOもしくはSCTOは、状況把握をし、KnTU競技本部へ報告してください。

(2) リタイア時・救護時対応

- ・ トランジション内で本人からのリタイア申出は、意思を確認後、次の対応をおこなってください。
- ・ 他選手の競技の邪魔にならないよう移動し、アンクルバンドを取り外し、CTOに渡してください。
- ・ アンクルバンドを受け取ったTOはCTOに渡す際、レースナンバー、時間、理由等を伝えてください。
- ・ 体調不良選手については、アンクルバンドを外した後メインメディカルへ案内し、適切な処置を受けてもらうように支援してください。

(3) エリア管理

トランジションエリアには、競技選手及び関係者以外は**立入禁止**とします。

①トランジションエリア周辺の整備等

- ・ 担当するエリアを事前に視察し、危険箇所の確認や必要機器が適切に配置されているかを確認し、競技が支障なく遂行できるようにしてください。
- ・ バイクチェックイン・バイクピックアップは、トランジションオープン時に極力全員で行いますので、集合してください。
- ・ 横断路には、観客が集まり混雑が予想されます。**競技優先で選手の安全を確保し**、横断路の観客誘導についてVOとともに声かけする等スムーズな大会運営をお願いします。

②サイネージの設置

- ・ トランジションエリア用に配備された備品のサイネージを設置してください。サイネージとガムテープ表示は必要最小限にして、サイネージ掲出等の必要がある場合は、CTOと相談してください。

④トランジションエリアの時間外の立入禁止

- ・ トランジションエリアにおいて、**選手の時間外立入禁止**とします。準備は時間内に済ませ、バイクピックアップはトランジションオープンしてから順次行うよう、選手に伝えてください。
- ・ リタイア選手・忘れもの等やむを得ない場合で申し出があった場合は、レースナンバーと理由を確認して、**TOが出入りの間立ち会うか代理で、選手の支援をする**ようにしてください。

⑤ユニフォームチェック: 前開きファスナー着用選手

- ・ 前開きファスナー着用選手の前開きファスナーが完全に閉まっている場合は、黙認します。
- ・ 競技中、上半身裸や前開きファスナーが下がっている選手に対して警告を行い、着衣・修正される間は**STOP & GO**による対応とってください。また、TOの警告に応じない場合は、ペナルティを科す場合があると選手に伝えてください。
- ・ 選手から質問を受けた場合、「**詳細は競技規則第39条をご確認ください。前面ファスナー着用は禁止されています。発見した場合は、ペナルティを科す場合があります。**」と回答をお願いします。

2. 業務別詳細および留意点

- 特記なき場合は、競技運営マニュアルに準じます。
- トランジションエリアのTOの配置は、「一覧」の通りです。

表中記号の意味は、◎主担当、○副担当を示します。

■ **トランジションオープン時間および出入口**

レース前エイジ(A~C) : 7:20~ 9:30
 ☆選手出入口：ラン出口

レース前アクアスロン(D) : 11:10~11:50
 ☆選手出入口：スイム入口

バイクピックアップオープン : 13:40~16:00
 ☆選手出入口：ラン出口

■ **パラトライアスロン タンデムバイク試走：選手から希望があった場合**
8:10集合 バイク入口付近
試走時間 8:20~8:30

タイムライン・業務内容		担当者		業務詳細・留意事項
		TO	VO	
前日確認・当日事前準備	トランジション エリア 全体設営	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当するエリアを事前に視察して、運営者が設置するトランジション内外の設営等が、図面通りになっているかを確認してください。 ・ マウントライン、デスマウントライン付近の設営状況を確認してください。 ・ パラトライアスロン用の椅子・備品類を確認し、椅子は当日選手に必要かどうかを確認してから運搬して、設置してください。備品類はCTOまたはSCTOがKnTU競技本部から運びます。 ・ トランジション内外他の危険箇所の確認や、横断路の必要備品・用具が適切に配置されているかを確認してください。競技が支障なく実施できるように、TOが競技者の視点に立ち、必要であれば適宜修正をしてください。修正した場合は、最終トランジションCTO及び技術代表TDへの確認をお願いします。 ・ トランジションエリア内外の小石の除去、清掃等を竹ぼうきで適宜実施してください。 ・ トランジションエリア付近のフィニッシュメディカル・メインメディカルの位置を確認し、レース当日の天候等の必要に応じて、準備と情報共有を行ってください。 ・ 救急搬送ルートを確認してください。 ・ サイネージの設置場所は、選手にわかりやすい場所に工夫して掲示してください。コーン、木やプラ柵などの適切な位置に紐で設置し、片づけ時も忘れないようにしてください。

	横断路VO到着	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 横断路担当のVOが到着したら、担当TOは就かれたVOと横断路の業務内容の打合をしてください。
スタート前	バイクチェックイン	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> トランジションエリアに集合して、極力TO全員でバイクチェックインの対応をお願いします。 違反を見つけた場合は、CTOまたはSCTOにお知らせをお願いします。 <p><バイクチェックインの確認内容></p> <ul style="list-style-type: none"> リストバンドをした選手のみ入場可。 車検、ヘルメット 固定ギア(ピスト)バイクや前後にブレーキの装置がないバイクでの参加は不可。 スタンドなど転倒時に危険と思われる突起物を装着したバイクでの出場は不可。発見した場合は、取り外す等の指導をお願いします。 ペットボトルの装着不可 ※例外あり 発見した場合は、使用禁止を警告し、ペットボトルを選手自身が外し、トランジションエリア内自分の場所に置いて競技続行をするように助言してください。ただし、ペットボトル専用ゲージを用いてかつキャップを取外さなくても飲めるように交換してある場合には、使用を認めます。 レースナンバーチェック 正しくセットされているか。ヘルメット前・左、バイク右 ユニフォームチェック、刺青(タトゥ)チェック 競技中露出させないように、指導してください。ウェアで覆う、テープを貼る等工夫を助言してください。 バイクラックへの置き方のルールチェック 間違っていたら、正しい向きにかけ直すよう指導をお願いします。 競技以外の荷物の案内 コインロッカーまたは有料手荷物預り所をご案内ください。 <p><パラタンドムバイク試走></p> <ul style="list-style-type: none"> パラタンドムバイク選手のみ試走します。パラエリア付近に手の空いている方は時間になったら集合ください。
スタート時	トランジションエリアのクローズとオープンスケジュール確認	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> トランジションエリアのクローズとオープンのスケジュールを最終確認し、情報共有をお願いします。 天候によりスタート時間の変更がある場合は、トランジションエリアのクローズとオープンのスケジュールを再確認し、各ウェーブのスタート時間を確認してください。 各ウェーブの競技制限時間の確認をしてください。
競技中	マウントライン・ディスマウントラインの違反チェック	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 担当TOは、ライン違反を見かけたら選手に声かけして、STOP & GOで警告をお願いします。 横断路が近くにあるので、選手接近の際はVOへの声かけをお願いします。 横断路VOの交替・休憩等に配慮してください。

	トランジションエリア内全体監視	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランジション内での違反のチェック 初心者の多い大会です。TOは選手の違反を見かけたら、STOP & GOで丁寧に対応してください。 ・ よくある違反など <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルメットのストラップをバイク保持で外している 発見した場合は、バイクスタート前は必ず、ラックからバイクを外す前にヘルメットのストラップを締め、バイク終了時はバイクをラックに掛けてからヘルメットのストラップを外すように、STOP & GOで指導してください。 ・ バイクに乗る・またがる トランジション内はバイク乗車禁止です。乗車ラインを超えてから乗車、降車ライン手前で下車させてください。 ・ ラン出口と、バイク出口・スイム入口の間違い 出口を間違える選手がいるため、選手同士が接触しそうになりますので、注意喚起の声がけをしてください。 ・ ランへ出る選手へ「レースナンバーを前へ」 着順ビデオ撮影のため。警告・注意喚起は、選手は分かりやすく、ジェスチャーとともに声掛けしてください。 ・ 上半身裸や前開きファスナーが下がっている選手に対して警告を行い、着衣・修正される間はSTOP & GOによる対応としてください。 ・ ヘッドフォンやイヤホン、カメラを装着したまま競技を行うことは禁止 見かけたら、自分の場所に置いてから競技するように声掛けしてください。 ・ シューズを履かずに裸足での競技続行は禁止 見かけたら、履いてから競技するように警告してください。
競技中	パラトライアスロン	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ パラトライアスロンの選手も参加しています。トランジション内およびバイクマウント・ディスマウントラインで見守り配慮をお願いします。 ・ その他、パラトライアスロンの対応がある場合は、CTOより依頼しますので臨機応変に対応してください。
	リレーゾーン管理	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ リレーゾーン管理は、ラン出口担当TOの兼務としますので、時間になったら、選手誘導をお願いします。 ・ バイク→ランの引き継ぎは、バイクヘルメットを脱いだ後リレーゾーンへ来て、アングルバンドを渡すというローカルルールとします。
	アクアスロンペア・ペアチャレンジA・Bの通過管理	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクアスロンペア、ペアチャレンジA・Bの選手が、トランジションエリア内を1回ランで通過します。スイム入口から入り、ラン出口へフィニッシュに近い側沿いを通りますので、競技時間になったらコース沿道に立ち、選手の誘導をお願いします。
	先頭、最後尾選手の共有制限時間の対応	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ トップ選手のトランジション、最後尾選手のトランジションの情報共有を、CTOから無線連絡及びトランジションTOへ行ってください。 ・ 最後尾付近の選手の制限時間については、HRが適宜判断します。(できるだけ完走を支援)

	スイムスキップ制度	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ スイムスキップ選手は、スイム会場からスタートします。トランジションで対応することはありませんが、スイムアップからトランジション入口まで距離があるので、トランジションからコース監視担当TOをアサインしています。スイム終了まで及び救急車移動時の対応をお願いします。 ・ スイムスキップ該当選手が迷っているようでしたら、声がけて、スイム会場へ行くように案内してください。 ・ タイム計測の開始は、スイム入口計測マットとなるので、アンクルバンドを装着しているか、確認してください。 ・ スイムアップ～トランジション入口までは計測無しとなりますので、選手は歩いて移動します。コース監視担当TOは、誘導をお願いします。特に、例年と違いコースが変更されている箇所を通過するので、適切に案内してください。
	競技中の選手の出入り管理	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技中は原則、選手の出入りは禁止ですが、忘れ物・リタイア選手等やむを得ない場合は、TOが個別の対応をします。 ・ レースナンバーと理由を聞いて、TOが選手に入場から退場まで立ち会うか、代理で支援してください。
	バイクピックアップの対応	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラン競技中～競技終了後に実施します。それ以前のバイクピックアップは認めていませんので、選手にトランジションオープン時間の案内をしてください。 ・ トランジションエリアに集合して、極力TO全員でバイクピックアップの対応をお願いします。 ・ 忘れ物・落し物は一か所に集めます。気づいたら拾って、近くの選手への声かけをお願いします。最終、忘れ物・落し物はまとめて、競技本部へ撤収してください。 <p><バイクピックアップのチェック> 出入口：ラン出口のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必ずリストバンドとレースナンバーとヘルメット、バイクのレースナンバーを照合してください。 ・ 忘れ物、落し物の問い合わせも多くありますので、極力対応してください。
競技終了後	撤収作業	◎	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本大会は運営者が撤収するので主体的に実施する必要はありませんが、掲示したサイネージ、借りた備品類等はK n T U競技本部へ返却するため、まとめてください。 ・ 最終競技の最後尾選手がトランジションエリアを出た後は、すみやかにVOに声かけし、マウントライン及びディスクマウントラインからトランジションまでのコースの簡単な後片付けと備品収集の協力をお願いします。 ・ トランジションエリアに忘れ物、落し物、ゴミや備品類が残ることのないよう、トランジションエリア内の確認と、清掃をお願いします。 ・ VOの終了時間により、適宜配慮するように対応してください。

※ 必要な備品及び数量は、大会運営者により配備されます。

足りない場合は、トランジションエリア等から適宜運搬します。設営のご協力をお願いします。